

7～9年生版

2025(令和7)年度～2029(令和11)年度

品川区教育振興基本計画

品川区教育ビジョン

2025(令和7)年3月

品川区教育委員会

ビジョン

子どもたちの笑顔でつながる共生社会

～みんなのウェルビーイングを目指して～



これからの学校の約束。 「ウェルビーイング」って知ってる？

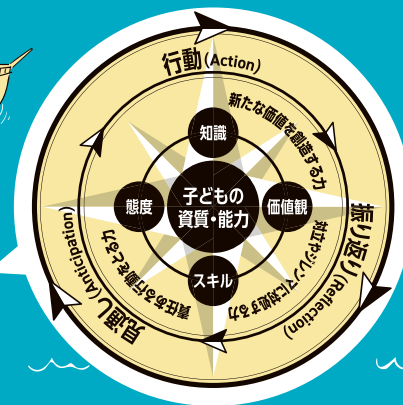
品川区は、みなさんが毎日をもっと楽しく、安心して過ごせるように、「これからの学校をどうするか」という計画（約束）を作りました。

品川区が掲げるビジョンは「子どもたちの笑顔でつながる共生社会 ～みんなのウェルビーイングを目指して～」です。「ウェルビーイング (Well: よい、Being: 状態)」とは、単に楽しいだけでなく、身体的・精神的・社会的に満たされた状態が続くこと。自分自身の幸せを追求することはもちろん大切ですが、それと同じくらい、周りの人や社会全体の幸せを考えることも大切です。誰も取り残さない、多様性を認め合う社会を、教育を通じて実現します。



「エージェンシー」を持とう。

学びの 羅針盤



変化の激しい社会を乗り越えるために、品川区はOECD（経済協力開発機構）の考えを取り入れた「品川区版 学びの羅針盤2030」を作成しました。この羅針盤の中心にある「コンピテンシー」を身に付け、自ら目標を決めて学び、責任をもって行動する力（エージェンシー）を発揮しよう。



学びの 羅針盤 (AARサイクル)

この力を高めるために、日々の学習や部活動で意識してほしいのが「AARサイクル」です。

1 | 見通し (Anticipation)

現状を分析し、仮説や計画を立てる。

「何をしようかな?」「どうなりたいかな?」と、ワクワクしながら目標を立ててみよう。



2 | 行動 (Action)

失敗を恐れず、実行に移す。

「よし、やってみよう!」と勇気を出して動いてみよう。失敗しても大丈夫、それが経験になるよ。



3 | 振り返り (Reflection)

結果を検証し、次につなげる。

「どうだったかな?」「次はこうしてみよう」と考えてみよう。



この3つを繰り返すことで、君だけの地図ができあがっていきます。さあ、冒険の始まりです!

未来を切り拓く「自分だけの力」を、 楽しみながら手に入れよう

答えのない時代、誰かの指示を待つのではなく、自分で考え、行動する

「自分の強み」を磨こう。市民科や探究的な学習を通して、

君が未来を自由に描くための学びを、品川区は全力で支えます。

たとえば…

「自分に合った
学び方」
を見つける

1人1台のタブレットを活用し、自分の得意を伸ばし興味に合わせて学習を進めます。また、正解が一つではない問題に対して、仲間と意見を出し合い、納得のいく答えを探す「探究的な学習」を大切にします。

社会の
一員として、
自ら動く

品川区独自教科の「市民科」などを通じ、社会のルールを学ぶだけでなく、自分たちが社会をどう良くできるかを考えます。学校のルールづくりや行事への参加を通して、自ら目標を立てて責任を持って行動する力を磨きます。

世界を舞台に、
新しい価値を
生み出す

1年生から続く英語教育や、経済の仕組みを学ぶ体験を通して広い視野を持ちます。デジタルの技術も使いこなし、これまでの常識にとらわれない新しいアイデアを形にする力を育てます。

1

お互いの違いを認め合い、 誰もが「自分らしく」いられる学校へ

得意なことも悩みも人それぞれ。品川区は、どんな状況でも
君が「自分らしく」いられる環境を約束します。マイスクールやメタバースなど、
教室以外の「第3の居場所」も君を待っています。

たとえば…

「みんな違って
当たり前」を
形にする

性別、国籍、障害の有無などに関わらず、誰もが自分らしく過ごせる学校を目指します。お互いの違いを「強み」として認め合い、みんなが学びやすい環境を整えます。

全員の
学びたい気持ちを
応援する

くらしの状況に関係なく、学びや挑戦をあきらめることがないようにします。給食費の無償化や教材費のサポートなど、品川区が責任を持って、みんなが平等にスタートラインに立てるようにします。

安心できる
居場所をつくる

悩みがあるときは、「スクールカウンセラー」の先生たちがいつでも味方になってくれます。学校に行きづらいつと感じるときでも、学びを止めないための選択肢を用意します。別の学び場(マイスクール)やオンラインの仮想空間(メタバース)など、それぞれに合った場所が必ずあります。

2

3

みんなが楽しく過ごせるように、 学校もパワーアップするよ！

たとえば…

みんなが毎日ワクワクしながら勉強できるように、
学校ではいろいろな準備を進めています。

先生がみんなと
向き合う時間を
増やす

品川区独自の先生である「品川区固有教員」を増やし、一人ひとりを丁寧にサポートできる体制を作ります。また、先生たちの仕事の進め方を見直し、先生がもっとみんなの話を聞いたり、良い授業を準備したりできる時間を作ります。

デジタルで
「より良い学び」へ

ICTの環境を整備し、最新の技術を取り入れることで、学校での勉強がよりクリエイティブでワクワクするものに変えていきます。

ずっと
安心して通える、
安全な学校へ

地震などの災害に強く、きれいで使いやすい校舎への建て替えや修理を進めます。登下校の安全を守る地域の人たちの協力や防犯カメラにより、学校の外でも中でも、君たちが安心して過ごせる環境を維持します。

参加・策定 プロセス (1～9年生共通)

みんなの声で、学校はもっと楽しくなる！

この計画を作るとき、品川区の児童・生徒が集まって、「どんな学校にしたいか」を話し合いました(ワークショップ)。そこで出た「自分らしさを大事にできる学校がいい」「もっと意見を聞いてほしい」という声が、この計画にはたくさん詰まっています。

学校を作るのは、先生や大人だけではありません。主役はみなさんです。「もっとこうしたい」という意見があったら、勇気を出して伝えてみてください。みんなで話し合い、協力して学校を良くしていくことは、世界の目標である「SDGs」の達成にもつながっています。

インフォメーション

品川区教育委員会
公式ホームページ



悩んだり困ったりしたときは

- 担任の先生、保健室の先生、副校長先生、校長先生
 - スクールカウンセラー
 - スクールソーシャルワーカー
 - 保護者、家族
 - 地域の人、周りの大人の人
- に相談してください。